

北海道奥尻島方言の比喩語について

小野 米一

はじめに

1. 調査対象地：奥尻島は、北海道本島の西南端部の海上に位置し、北海道奥尻郡奥尻町という、1郡・1町の島である。松山支庁のある江差町から約60km、フェリーで約2時間の距離にある。函館への航空便もある。イカ漁を中心に、近海・沿岸漁業を主産業とするが、観光も大事な収入源である。今回直接に取り上げるのは、島の中心地字奥尻（戸数約350戸、人口約1300人）のことばである。
2. 調査年月日：1992年8月4日（火）午前9時30分～12時、
8月6日（木）午後1時～4時30分
3. 話者：柴野クレ氏 昭和2年4月生まれ（65歳、女） 日用雑貨小売商店経営
8月6日には、菊地静子氏（大正14年9月生まれ、66歳、女）にも同席してもらった。

同じ時期に教示を得た、佐藤義美氏（69歳、男）、雁原勝次氏（64歳、男）のものを&で、湊千秋氏（32歳、女）とその両親のものを#で、参考として示す。

また、1975年夏に学生たちと、76年夏に2回小野ひとり、奥尻島を訪ねた時に記録した資料の中から補ったものを*で示した。

4. 調査者・調査場所：小野米一、話者宅の居間
5. 調査方法・調査時の様子：調査票に基づいて質問しながら、関連する話題についてもおしゃべりをした。必要に応じて、同席者にも発言を求めたり、確かめたりした。お店の仕事が忙しいところもあったが、終始好意的に対応してくれた。
6. 表記・記述：語頭以外のガ行音は鼻音であるが、特に示さなかった。また、スイ・ツイなどの音についても、シ・チなどのように簡略に記した。

アクセントについては、“**「**”で上がり目を、“**」**”で下がり目を示す。

「比喩語と判断される事象のみ」を記述するのであるが、「比喩語が得られない場合は未調査ではないことの確認のために、回答のあった事象」を記しておくようにとのことなので、後者を*によって示した。物が「ない」とか「知らない」などの事情で適切な回答が得られなかった場合は「回答なし」とした。

調査票の調査項目以外の項目は、“◆”で示した。

I 〈 自然現象 〉

- 1 日照り雨 **ダ「マシ「ア」メ**（だまし雨）<名> 人をだますような雨だから。
- 2 入道雲 3 旋風 4 霜柱 ○ 2～4 回答なし。
- 5 つらら ***シ「ガ」カカル**<動> ***&シ「ガ」サガッテル**<動>
- 6 北斗七星 **ヒ「シャ」グ**（ひしゃく）<名> は七つの星全体の形から、***ナナ「ツ」ボシ**（七つ星）<名> は星の数から、&**ツ「リガネボシ**（釣鐘星）<名>・&**マス「ボ」シ**（掛星）<名>も星の形からという。

7 昴 &ウズラ「ボ」シ（うずら星）＜名＞ 小さい星がたくさん集まっていることから。

8 流れ星 ♪ナガレ「ボ」シ＜名＞ ♪ホ「シ」トンダ（星が飛んだ）＜動＞

II 《 動物 》

9 かわはぎ ウ「マズラ」 （馬面）＜名＞ 形が馬の顔に似ているから。 &#チユン「チユン」＜名＞ 口が小さいから言うのではないか、という。

10 ひらめ &テッ「クイ」＜名＞ 歯がたいそう強くて、手を出すと噛みつくという。

11 ひきがえる 12 青大将 13 とかげ 14 かまきり 15 みずすまし

○以上、ここにはいないらしい。あるいはあまり見かけなくて分からないという。

16 きつつき ケラツツ「キ」＜名＞ ○セ「ワシ」 「ネ。ケ」ラツツキ。（子どもがあんまりしゃべってうるさいと、こう言う。）

17 せきれい &エシタタ「キ（石敷き）」＜名＞ しっぽで石をたたくような格好をするから。

18 ふくろう なかなか寝ない子のことを ○フ「クロミ」タイダッテ イー「マ」スヨ。 &○フ「クロ」エンタ ふくろうのような（寝ない子のことを言う。）

III 《 植物 》

19 馬鈴薯 ♪ニ「ドイモ（二度芋）」＜名＞ 1年間に2度収穫できることから。普段は単に♪イ「モ（芋）」＜名＞ということが多い。種類によっては、赤い色から♪ア「カイモ（赤芋）」＜名＞、栽培を普及させた川田男爵にちなんでいう♪ダ「ン」シヤク（男爵）＜名＞などの言い方もある。*アネイモ＜名＞は大きくなったイモのこと。

20 どうもろこし ♪キ「ミ」＜名＞・♪トー「キ」ミ＜名＞

21 いんげん豆 ♪テ「ナシ」サ「サゲ」＜名＞、テ「ボ」＜名＞

22 そら豆 23 木くらげ 24 げんのしょうこ 25 どくだみ

○22～25は奥尻にはないのか、あまり見かけないという。

26 いたどり ♪ドン「ゲ」＜名＞、♪バツ「ケ」 （芽を出した時）＜名＞、#ア「カベ」ロ＜名＞ アカベロはいたどりの若芽を「赤い舌」に見立てたもの。

27 からすうり 28 すみれ 29 春蘭 30 母子草 31 ねむの木

○27・29・30はないという。28・31はあまり見かけないという。

IV 《 性向 》

32 熱しやすく冷めやすい人 ♪ミッカ「ボ」ーズ＜名＞

33 あわてん坊 アワ「クッ」テアルク（泡を食って歩く）＜動＞、 &ア「ワ」クー（泡を食う）＜動＞、♪チャッ「カ」シ（落ち着かない人、気ぜわしい人）＜名＞

34 動作の鈍い人 ベゴ「シ」ーナヒト（牛のような人）＜名＞

○ワタシ ベ「ゴ」ダ ノ。私はのろまなの。 ○ベゴドシウマ「レ」ノ ブダソ「ダ」チダ。牛年生まれの豚育ちだ。（のろまな人のことを言う。） &○アイ「ツ」ア ベ「コト」 オンナジ「ダ。あいつは牛と同じだ。（のろまな人をいう。）

35 嘘つき #タイ「ホー（大砲）」＜名＞、#マン「カラ（万空）」＜名＞ 次項参照。

36 ほらふき マン「カラ（万空）」＜名＞ 全部が空、うそばかりのこと。 #タイ「

- ホー (大砲) <名> ちょっとのことを大きく言う。 #○ (小さいころに) ツ「
ツヤノ 「マン」カラニ ツ「ダノ タイ「ホー (という人がいた。)
- 37 おしゃべり ス「ズメ・スズメ「コ (雀) <名> ○アッ「コ」ノ カーサン
スズメ「コ」ダ モン。あすこの母さんはおしゃべりだもの。
#ダダ「メ」ク (何でもべちゃくちゃしゃべる) <動>、ダ「ダメキ<名>
#○アノオナ「ゴ」ワ ダダ「メ」グ オナ「ゴ」ダ。あの女はよくしゃべる女だ。
- 38 冗談言い ♪#トンチ「イー (頓智言い) <名> おもしろい人。
- 39 口先だけの人 アン「バイ (調子のいい人) <名>、ク「チアンバイ (誰にも感じ
のいい話し方をすること) <名>、アン「バイー (調子のいい話し振りの) <形>
&○アン「バイクテ 「ナ」ー。ハナシダ「キャ」ー イー ノサ。(あの人は) 調
子がよくてねえ。話だけはいいのさ。
- 40 とんちんかんなことを言う人 ♪&チン「ブ」ンカン (ちんぶんかん) <名>、♪
#オッチョコ「チョ」イ (おっちょこちょい) <名>
- 41 のらりくらり煮えきらない人 ♪&ク「ド」イ<形>、 ♪#ネツ「ク」ツスル
<動> &○ク「ド」イ オトコダ 「ナ。煮えきらない男だな。 #○ネツ「
ク」ツシタ ヒトダ。はっきりしない人だ。
- ◆ 人の前でははっきりしないで陰で文句を言う グ「ダメ」グ<動> ○カ「ゲデ
ダダダダ グダダダ グ「ダメ」グ。陰でぐずぐず文句を言う。 ※61参照。
- 42 怒りっほい人 タン「バラ (短腹) <形動>
- 43 気むらな人 回答なし。
- 44 泣き虫 ♪#ナ「キッコ」<名>、 ♪#ナキ「ジョ」ーゴ<名>
- ◆ だだっ子 ゴンボ「ホリ」 (牛蒡掘り) <名>、ゴン「ボ」 (牛蒡) <名>、ゴン
ボ「ホル (牛蒡を掘る) <動> ※61の説明参照。
○アッ「コ」ノコノ ゴン「ボ」ダラ 「テ」ー ツケラレネ。あすこの家の子の
だをこねるのにはどうにも手がつけられない。
- 45 おてんば娘 ジャジャウ「マ (じゃじゃ馬) <名>、オドコ「メッ」ケ (男み
たいな女の子) <名>、&#メッケ「ワ」ラシ (同) <名>
- 46 腕白坊主 言うことを聞かない子供を叱る時には、 ○ドンコロ「クソ!> と言う。
「小さい塊になったクソ」の意という。
- 47 出しゃばり #デ「ベ」チョ (出臍) <名>、 ♪#ス「スベ (出しゃばり)
<名>、 ♪#ススッ「コキ (余計なことをする女) <名>、 ♪#スス「ベ」ナ (出
しゃばりな) <形動>
#○ウダ「デ ススッ「ベ」ナ オナゴ たいそう出しゃばりな女
- 48 どこへでも顔を出す人 前項に同じ。
- ◆ 外へ出るとなかなか帰って来ない人 *○イ「ツ ナ」ンジ クル カネー。デ
「テ」マエバ ハ「ー テッ「ボンタマ」ト ヒトツデ。いつ、何時になったら帰
て来るかねえ。出て行ったらもう鉄砲の弾と同じで (帰って来ない)。
- 49 家にこもって外出しない人 #エ「ノナガベ」ンケ (家の中弁慶) <名>

#オ「ノ」ヒト イ「ロ」 シ「ロ」イ 「ネ。あの人、色が白いね。↔ダッ「テ
エ」ノナガベ「ンケダ モノ。だって、いつも家の中にばかりいるんだもの。

50 小心者 ㄥウツ「ケ (内気) <名>

51 内弁慶 エノナカベン「ケ」ー (家の中弁慶) <名> ○ソ「ト」デワ ムシモ
コロセ「ネ」ノニ ウ「チ」ニ カイレバ エノナガベン「ケ」デ ウチノ ナカ
デ「ワ イ「ラ」ク ナッテル サ。外では虫も殺せないのに、家に帰ってくれば
“家の中弁慶”で、いばっているのさ。(男女ともにについて言う。)

52 人づきあいをしらない人、社交性のない人 回答なし。

53 妻に対して頭の上がらない男 ㄥカカ「テ」ンカ (かかあ天下) <名>

54 けち ㄥケ「チ」・ㄥケ「チ」ンボ (けち) <名>、シ「ン」ボ (辛抱) <形動>、ピ
ンボ (貧乏) <形動>、ㄥ#ド「ケ」ツ (どけち) <名>、ㄥ#シ「ワ」スケ (け
ちん坊) <名>、ㄥ#ス「ワ」イ・ㄥ#シ「ワ」イ (けちな) <形> ○ケ「チ」デ
トテモ シ「ン」ボナ ウ「チ」ダ ノ。けちで、とても辛抱な家なのよ。

55 欲張り ㄥヨクタ「ガ」レ<名>、ㄥ#ヨ「ク」ッ「ベ」<名>

◆ 奥尻生まれ・育ちの人 シ「マ」ネ「ズ」ミ (鳥鼠) <名>

◆ いいふりこき *オ「ク」シリトッ「キ」ョ (奥尻東京) <名> いいふりこきをする
が、センスが身についていないことを言う。

V 《 食生活 》

56 大食漢 ㄥオー「マ」グライ (大食らい) <名>

57 ぼたもち ○ボ「タ」ンノ コロガ ボ「タ」モ「チ」、「ア」キノ オヒガンノ
コロガ オ「ハ」ギ。ぼたんの花の咲くころ食べるのが「ぼたもち」で、秋のお彼
岸のころ食べるのが「おはぎ」だ。

58 砂糖味が薄い サド「ヤ」ノマエ カケ「ア」シシタエンタ (砂糖屋の前を駆け足
して通り過ぎただけのような) <句>

59 塩味が薄い アメツケモ ショーバイ「ケ」モ ナイ (甘さも何にもない) <句>

60 大酒飲み ㄥオー「マ」グライ (酒についても言う) <名>、ㄥノ「ン」ベ<名>、
ト「ラ」 (“虎”、酔っ払った人) <名>

61 酒に酔ってくだをまく ゴンボ「ホ」ル (牛蒡を掘る) <動> 牛蒡を掘り出すの
は容易でないことから、酒に酔いしれて手の焼ける様子を喩える。幼児がだだをこね
る様についても言う。グダ「メ」グ・&グ「ダ」マク (管を巻く) <動> オー「
カ」ミ (狼) <名> 酒を飲んだら他人につかかかったり、けんかをするような人。
○イマ「ダ」ラ サケ 「ノ」ンデ ゴンボ「ホ」ル ヒト イネグ 「ナ」ツ「タ
「ヨ」ー。今では、酒を飲んで管を巻くような人はいなくなったよ。

62 酒に酔って顔が赤くなる、そのさま 回答なし。

VI 《 動作・様態 》

63 恥ずかしくて顔が赤くなる、そのさま ア「カ」ザル (赤猿) <名>

64 どしゃ降りの雨 バ「ケ」ツデ マ「ガ」シタエンタ アメ フル。汲んだ水をバ
ケツでぶちまけたような雨が降る。

- 65 ずぶ濡れ・びしょ濡れになる、そのさま ヌレネズ「ミ」(濡れ鼠) <名>
- 66 服装がだらしないさま ♫フンジャ「マ」(ぶざま) <名>、♀フンジャ「マウ」
リ「ー」(ぶざまな) <形> ○アッ「コ」ノ オ「ヤ」ジダラ フンジャマ「タ」
カリダ。あすこの親父は、だらしくって行儀が悪い。
- 67 髭がのび放題なさま 回答なし。
- 68 厚化粧をしている人 #オ「シロイバコン オ「チタ ネズミミタイニ (白粉箱に
落ちた鼠みたいに) <句>、#ネズ「ミ」ガ ゴ「ホンバ」コニ 「オ「チタミタイ
ナ (鼠がご飯箱?に落ちたみたいな) <句>、ホ「ジョデ ハ「ジケ「ルエンタ (ホ
ジョ?ではじけるような) <句>
- 69 背丈の高い人 ♫ノッ「ポ・#セータカ「ノッ「ポ (のっぼ) <名>、デンシン
「バ」シラエンタ (電信柱のような) <句>、#テン「ジョ」ーツグヨーナ (天井に
届くような) <句>、#ク「モツクヨーナ (雲をつくような) <句>
#○ヤ「ーヤ、シ「カゲノ ドン「ゲ「ート オンナジ「ダ「ー ナ。あらまあ、日
陰のいたどりと同じだね。「ひょろっとやせて背の高い人」のことを言う。
- 70 出びたい ♫デ「ゴ<名>、♀ナン「ズギ<名>、♀#デコナ「ズ「キ<名>
- 71 汗がひたいから流れ落ちる タキノ「ヨ「ーナアセカグ (滝のような汗をかく)
- ◆ *○ド「コ」モ カ「シコモ タ「マ」ノ アセ (食中りになった時、体じゅ
う) どこもかしこも玉のような汗 (が出た)。
- 72 目を丸くする ♫ドッ「テ」ンスル・〜コク (びっくりする) <動>
- 73 口をとがらす ○タ「ゴ」ミタイニ クチ トンガラ「カ」シテ 蝸みたいに口を
とんがらかして
- 74 焦げ臭いにおい ♫イン「ブリク「サ「イ (外でごみを焼いたりした時のにおい)
<形>、♀ヒ「ナグサ「イ (着物などの焼けるにおい) <形>
- 75 遠回り (をする) 回答なし。
- 76 末っ子 ♫バッチ「コ<名>、♀ヨデッ「コ<名>
- 77 一生懸命頑張る ♫ケッ「パ」ル (頑張る) <動>、♀マメ「シ「ー (まめな)
<形>
- ◆ 怠ける カ「ラッポネヤミ (怠け者) <名>、カ「ラッポネヤ「ム (怠ける)
<動>、ズボラ「ケッ「コ (怠け者、ケッコは“おかゆ”のこと) <名> ○アッ
「コ」ノ カーチャン カラッ「ポネヤミダ。ヒル「マッ「カラ ア「ソンデ アル
ッ「タリシテ。あすこの嫁さんは怠け者だ。昼間っから遊んでまわったりして。

VII 《 その他の比喩語 》

- ◆ ボッコ「フ」デ<名> 棒のように穂先が丸くなった、使い古しの筆。
*○「フデ」 ポッ「コ」ダカラ 「マ」ク カ「カサエ「ネ「ー。筆が穂先が丸く
なっているから、うまく書けない。
- ◆ ○ジ「ー 「ニ「ンベニ ナラ「サ「ル サ。字が曲がってしまうんだよ。
○ソッ「タラ ミ「ミ「ズノ ジデ 「ド「ースルンダ。そんなみみずのような字
でどうするんだ。(こう人に言われて字の練習を始めた。)

- ◆ *○ナ「ニモ カ「ニモ ケン「デ ケンデ ソ「ロバンダマ イッ「ツ「モ ア「ガリッキリデ サ「ガッ「テ コ「ネ「ンダ。何もかもさっぱりなかなかうまいかないで、そろばん玉がいつも上がりっきりで下がって来ないんだ。(赤字になりっぱなしでまるっきり黒字にならない。)
- ◆ *テッ「ポーウチ「(“鉄砲撃ち”) <名> *○ワレ「ワ「レワ テッポー「ウジッ「テ 「ネ。イ「マ ヤレバ モー「カ「ルンダッテ トキニ テッ「ポーウジ「デ ショ「ーバイスルッテコトワ 「ネ。カ「ナラズ ア「タル「ト。我々は鉄砲撃ちと言ってね。今やれば儲かるんだという時に鉄砲撃ちで商売するということはね。必ず当たると。(そういうことなんだ。)
- ◆ 結婚する *カ「マドモ「ツ(所帯を持つ) <動>
- ◆ 破産する *カ「マドカエ「ス(窶をひっくり返す) <動> *○ムッ「タ「リカ「マド トッ「クリカエ「シテマッテ すっかり財産をなくしてしまっ
- ◆ お年玉 *マッ「コ(馬) <名> *ヤ「セマッコは金額が少ないことの謙遜。
- ◆ *ヒ「ト「トルヨーナカゼ(人を獲るような風) <名> 時化を起こすような、強い、恐ろしい風。船が事故になりやすいので、風が「人を獲る」と言う。
- ◆ *ウ「サギガトブ(兎が飛ぶ) <動>、*ト「リッコトブ(鳥が飛ぶ) <動> 波が立って波頭が砕けて白く見える様を喩えて言う。
- ◆ *サンカク「ナミ(三角波) <名> 船がひっくり返りやすい危険な波。波の形が三角形に見える。
- ◆ *アブラナ「ギ(油なぎ) <名> 油を流したように穏やかな海の状態。
- ◆ *シ「マ(島) <名> 海岸にある、大きな岩のことを言う。
- ◆ *ネ「(根) <名> 海の中の深いところにある岩。
- ◆ *カ「ゲ(陰) <名> 海の底の急に深くなっている場所。
- ◆ *シ「カダ「メシ・*シ「カダ「 <名>、*メッ「コ「メシ・*メッコ <名> よく煮えてなくて芯のある飯。シカダは南西の風の名、メッコは片目の意。
- ◆ *オッ「パイバ「リ <名>、*ト「ンポ <名> とともにイカ釣りの道具。前者はおっぱい(乳)のような形、後者は昆虫のトンポのような形をしている。
- ◆ *○シ「ガツカラ ゴ「ガツン カケテ ハ「マ「モナモ モー ニ「ダ「ル ワケデス ワ。4月から5月にかけて、浜も何ももう漁で沸き立つわけですよ。
- ◆ *○ム「カシワ マ「ー イ「ガワ ウ「ミノ ウ「ジッ「テ ユツケドモ 「サ。昔はまあイカは海のウジって言ったけどもさ。

おわりに

①北海道方言全体として、こなれた比喩語・比喩表現は多くないようである。もっと綿密に調査を進めれば、比喩語・比喩表現の、広く深い世界を発掘することができるかもしれない。②北海道では動植物の存在しないもの、あまり見かけないものがあり、回答の得られにくい項目(ひきがえる、母子草など)がある。③奥尻島の特徴として、漁業生活に関係のある分野(海、風、地形、漁など)には、比喩語・比喩表現もかなり多そうであるが、今のところ勉強不足である。 (おのよねいち 北海道大学言語文化部)